

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 練馬武蔵関教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令を順守したスペースは勿論のこと、運動のできるスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	配置加算を採用しているため、常時指導員は常に3名体制となっている。他教室からヘルプの指導員も含めて適切に配置されている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	建築基準法に基づき、トイレには車椅子対応の手すりなどを取り付け、バリアフリー化の配慮を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	毎日掃除を行い清潔にしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	ヒヤリハット、事故対策、会議議事録、感染対策、虐待防止対策、研修実施議事録、相談苦情、非常災害対策等々の担当者を割り振り、定期的なミーティングを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者向けアンケートを実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を図っていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	HPで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	療育に関係のある外部研修には各自積極的に参加し、内容を共有する機会を設けている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。また、個別支援計画作成する際、話し合う時間を設けている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 練馬武蔵関教室

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	適応行動の状況は日々のミーティングで確認している。標準化されたアセスメントシートを使用し、必要に応じ確認している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	児発管と保護者の話し合いを行い、適切に選択し具体的な支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	毎サービス提供時間前後に計画や目標を確認し支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	児発管と指導員が話し合い、プログラムの立案を行っている。また、子どもの直近の様子なども考慮し立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	運動は子どもの様子や保護者のニーズを取り入れながら、日ごとにプログラムを変えている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	小集団クラスと集団クラスを設けており、契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行っている。子どもの成長に応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を聞きながら行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出しミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を設け、一日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出している。記録を必ず残し、休みのスタッフへも情報共有を図っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録用紙（子どもの一言情報）にも記入し、検証している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	定期的に保護者、児発管、指導員とミーティングを行い、モニタリングをして計画の見直しの必要性を判断している。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 練馬武蔵関教室

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	現在はサービス担当者会議が行われていないため参加していないが、サービス担当者会議がある時は、児発管と現場のリーダーが参加する予定。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	関係機関と情報の共有しながら、支援計画や日々の療育に反映できるよう、教室内で話し合っているようにする。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	現在該当する利用児はいないが、今後必要に応じて連携できる体制を整えていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	現在該当する利用児はいないが、今後必要に応じて連携できる体制を整えていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	他療育や幼稚園、保育園との情報共有は出来る限り行い、支援計画や、療育での統合性を意識していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	ご依頼があれば、今後も対応していきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	適宜、連携を行っている。研修においては現在、参加が難しい状況だが、今後機会があれば参加の予定。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	特に検討していないが、今後必要に応じて検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に保護者とのフィードバックの時間を設け、希望に応じ学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	ペアレントトレーニングは特に実施していないが、日々のフィードバックの中で、子ども対応について親へのアドバイスを行っている。また面談時に相談を受けた場合も、指導員が回答するなどして支援を行なっている。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 練馬武蔵関教室

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	児発管が支援計画を作成・説明を行い同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	指導員や児発管が悩みを話せるように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングを行い回答するように心がけている。また、電話で経過を伺うなどして相談に応じている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会や保護者会は行っておらず、感染予防のため、現在は見学は基本行われていない。今後の状況を見ながら保護者同士の連携を支援する方法、体制を整えていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	苦情・要望については、受けた時点で都度対応し早急に改善している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報等は発行していないが、新入社員紹介などは契約者全員に紙面で発信している。また連絡事項は事業所内の分かりやすい場所に掲示している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報と思われる資料はシュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	現在配慮の必要な方はおらず行われていないが、必要に応じて意思疎通の取り方を検討し行っていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していきたい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	左記マニュアルに沿って職員に周知し、訓練にも取り組んでいる。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 練馬武蔵関教室

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	定期的な訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約面談時に面談により確認している、変更があった場合は、随時情報提供していただいている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約面談時の面談により、食物アレルギーについては聴取している。今後、必要に応じ医師の指示書の必要性を検討していきたい。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、全職員で共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	管理者兼児発管が社内の虐待防止委員会作成の研修に基き、行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	身体拘束防止委員会を設け、身体拘束の定義や対応を職員間で確認している。保護者に説明し、支援計画においても記載している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 練馬武蔵関教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15				決して広くはないが、活動するには問題ないです。	法令を遵守したスペースを確保しております。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2		1	・2人体制の時に少ないと感じました。 ・場所が場所だけに（車通りが多いので）お迎え送りの時含め不安があります。3～4名の配置、入り口をガードレールにする、扉を二重にするなど工夫があると尚よいかと思えます。	ご意見ありがとうございます。ご指摘の通り、教室前の道路が車の通行が多くなっております。ドアの開閉時の職員の立ち位置の工夫や、鍵閉めの徹底に引き続き取り組んで参ります。また、出入口に飛び出し防止のコーンを設置するなどの対策を検討させていただきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	1		1	やるべき事の部屋がきちんと区別されています	ありがとうございます。今後も運動スペースを生かした支援を行って参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15				いつもキレイにしてくれています。	ありがとうございます。今後も毎日の掃除、また、消毒作業などにも取り組んで参ります。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14			1		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14			1		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14			1	工夫して支援をしてくれています。	ありがとうございます。今後も一人一人のお子様の計画に沿った支援に取り組んで参ります。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14			1	子どもの気持ちも聞いてくれてプログラムを作ってくれている時もあります。	ありがとうございます。お子様の課題に合わせてプログラムを変更しております。今後もお子様一人一人に寄り添った支援を心がけて参ります。

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 練馬武蔵関教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

保護者への説明等	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	4	7	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜だけだからか聞いたことがありません。 ・交流の機会について説明を受けていないと思われる。 ・子ども同士でお話したりする姿も見られます。 	現在のところはありません。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14			1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	6		4	5	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも親切で親身になってくれる。 ・システムがよく分からず申し訳ありません。 ・通所間もないため不明。 ・ペアレントトレーニングは行われていないと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様についてのご相談等ありましたら、今後も引き続き、気軽にスタッフにお声掛けいただければと思います。 ・ペアレントトレーニングについては現在実施しておりません。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	14			1	家での様子も聞いてくれて、その時々状況を理解してくれています。	活動後に保護者様にフィードバックの時間を設けています。お子様のご家庭での様子など、支援に役立てていければと思っております。今後とも宜しくお願い致します。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12			1	2	行われていないと思われる。
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	6	6	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜だけだからか聞いたことがなかったです。 ・通所間もないため不明。 ・説明を受けていないと思われる。 	現在のところはありません。	

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 練馬武蔵関教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

満足度	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13				<ul style="list-style-type: none"> ・相談に対し、どの先生もとても丁寧に対応していただき、とても助かります。 ・伝えたいことを伝達すると、全員でその情報を共有してくれている感じがします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。今後も丁寧な対応を心がけてまいります。 ・職員間で毎日ミーティングを実施しております。保護者様のお話は、全職員で共有するようにしております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1			皆さんがやさしく子どもに寄り添ってくれる。	ありがとうございます。引き続きお子様一人一人に寄り添った支援を心がけて参ります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6		2	7	具体的に聞いた記憶がありません。	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントがある場合には、案内の掲示と口頭で説明をしております。 ・自己評価の結果はHPIにて公開しております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	1		2		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	11			4	日曜日のため、お聞きしたことがなかったです。	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを作成しております。 ・規定通り、訓練を実施しております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8			7	日曜日のため、お聞きしたことがなかったです。	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを作成しております。 ・規定通り、訓練を実施しております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	12	2		1		
	23	事業所の支援に満足しているか	13	1		1		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 練馬武蔵関教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令を順守したスペースは勿論のこと、運動のできるスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	配置加算を採用しているため、常時指導員は常に3名体制となっている。他教室からヘルプの指導員も含めて適切に配置されている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	建築基準法に基づき、トイレには車椅子対応の手すりなどを取り付け、バリアフリー化の配慮を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	ヒヤリハット、事故対策、会議議事録、感染対策、虐待防止対策、研修実施議事録、相談苦情、非常災害対策等々の担当者を割り振り、定期的なミーティングを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者向けアンケートを実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を図っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	HPで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	療育に関係のある外部研修には各自積極的に参加し、内容を共有する機会を設けている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	児発管と指導員が子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。また、個別支援計画作成の際、話し合う時間を設けている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	適応行動の状況は日々のミーティングで確認している。標準化されたアセスメントシートを使用し、必要に応じて確認している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	児発管と指導員が話し合い、プログラムの立案を行っている。また、子どもの直近の様子なども考慮し立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	運動は子どもの様子や保護者のニーズを取り入れながら、日ごとにプログラムを変えている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 練馬武蔵関教室

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	当事業所は平日と休日ともに開所しており、サービス提供は平日と休日、特段変わりがないため、基本同じ内容で実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	当事業所は個別クラスと集団クラスが設けられているため、契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行い、子どもの成長度合いに応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を聴取し行っている。それぞれのニーズに合わせて個別の活動にも出来る限る対応できるようにしていきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出しミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気付いた点や改善点洗い出している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録用紙(子どもの一言情報)にも記入し、検証している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	契約後、3か月以内に定期的にミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	総則通り行っている。
関係機関や保	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	コロナの影響で直接会議に参加する機会は少ないが可能なかぎり電話などで児童発達支援管理責任者が主に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	当事業所は送迎がないこともあり、学校との情報共有は行っていない。その代わりに、保護者から間接的に情報をもらうことがある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	当事業所には医療スタッフが存在せず、医療的ケアの必要なお子様を通所していないが、今後受け入れる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	現在は就学前の各園との情報共有等は行っていないが、放課後等デイサービスや保険対象外の療育施設との情報共有や相互理解は要望があれば対応している。今後、必要に応じ検討していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	資料を提供できる体制は整っている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 練馬武蔵関教室

護 者 と の 連 携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	外部研修には、主にオンラインで参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく、実施していない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	各自治体の方針によって参加の有無が異なっているが、今後も機会があれば、参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて状況や課題を共通認識している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	ペアレントトレーニングは特に実施していないが、日々のフィードバックの中で、子ども対応について親へのアドバイスを行っている。また面談時に相談を受けた場合も、指導員が回答するなどして支援を行なっている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	毎回、指導員や児発管が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できなときは、スタッフ間でミーティングし、回答するように心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会や保護者会は行っておらず、感染予防のため、現在は見学は基本行われていない。今後の状況を見ながら保護者同士の連携を支援する方法、体制を整えていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	苦情・要望については、受けた時点で都度対応し早急に改善している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報等は発行していないが、新入社員紹介などは契約者全員に紙面で発信している。また連絡事項は事業所内の分かりやすい場所に掲示している。
	35	個人情報に十分注意している	個人情報と思われる資料は、シュレッダーを掛けたり、カギ付き書庫の中に保管したりしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	現在配慮の必要な方はおらず行われていないが、必要に応じて意思疎通の取り方を検討し行っていく。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 練馬武蔵関教室

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	左記マニュアルに沿って職員に周知し、訓練にも取り組んでいる。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	定期的な訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	社内研修を実施し虐待防止の概念や事例など取り上げながら、日々の療育に反映できるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	護者に身体拘束に対する社内全体での定義を説明し、承諾を得ている。支援計画に記載するとともに、職員にも再度周知していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約面談時の面談により、食物アレルギーについては聴取している。今後、必要に応じ医師の指示書の必要性を検討していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、全職員で共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。

保護者からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 練馬武蔵関教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	2				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	26	2			先生の入替わりが多いのは気になる。	・ご意見ありがとうございます。 TAKUMIでは、全教室で社内研修等を行い、専門的な知識の向上に向けた取り組みを行っております。どの職員でも一定レベル以上の支援ができるように努めております。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	26	2			駐輪場が狭くて止めにくい。	・ご意見ありがとうございます。 教室前の道路は車の往来も多く、駐輪が困難な場合もあるかと存じます。教室内に入ることが難しい場合は、職員が教室の外に出てフィードバックを行うことも可能ですので、ご相談いただければと思います。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	28					
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	28				野外活動（自然と親しむ）もあればありがたいです。	ご意見ありがとうございます。野外活動については、現在のところありません。当社も含めて、今後、検討させていただきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5	10	10	・必要ないので今のままでいいです。 ・不要。	現在のところありません。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	1				

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	15	9	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事のため、なかなか私の方が把握できていない。 ・必要ないと思います。 ・お知らせなどは今までないです。 ・不要。 	・現在のところありません。	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	2	11	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情の経験や不満もないのでわかりません。 ・苦情がないため、対応してもらったことがない。 ・経験なくわかりません。 	ありがとうございます。お話を受けた際には、迅速に対応しております。	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	1	1			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2	15	2	9	<ul style="list-style-type: none"> ・見学ができないので、お便りの発行なので様子を知りたいです。 ・定期会報を把握していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、コロナ禍のため見学はご遠慮いただいております。 ・フィードバック等でお子様のご様子を伝えられるように努めて参ります。 ・お便り等につきましては、職員がお子様、一人一人に向き合う時間を確保するために実施の予定はありませんが、今後の検討材料とさせていただきます。
	14	個人情報に十分注意しているか	27	1				
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	26	1	1			
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25		3			
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	27	1		<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく通わせていただいています。 ・反抗期のため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。今後もお子様が楽しく通うことのできるように職員一同努めて参ります。 ・反抗期のお子様にも寄り添った支援ができるよう努めて参ります。 	
	18	事業所の支援に満足しているか	28			<ul style="list-style-type: none"> ・あたたかく見守っていただき感謝しています。 	いつもTAKUMI練馬武蔵関教室の療育にご理解をいただきまして誠にありがとうございます。今後とも宜しくお願い致します。	

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。